

## 生活習慣 気を付けよう

新発田・加治川中 がん学ぶ講演会



がんについて語るあがの市民病院の藤森勝也院長＝新発田市川口

がんについて学ぶ講演会が、新発田市川口の加治川中学校で開かれた。あがの市民病院(阿賀野市)の藤森勝也院長(62)が全校生徒約120人に、生活習慣の大切さを説いた。

講演会は健康に関する授業の一環で、10日に開かれた。藤森院長は「2人に1人ががんになる」と語り、身近な病気であることを説明。一つのがん細胞が、発見しやすくなる1センチ大になるまで10、20年かかる一方、その後1、2年で一気に

に2センチ大になるといった性質を紹介した。

がんの原因として細菌・ウイルス、生活習慣、遺伝的要因を挙げ、予防には健康的な食生活や適度な運動、定期的な検診が大切だと強調。特に喫煙は15歳までに始めると、非喫煙者の30倍以上、肺がんになりやすいとのデータを示し、「皆さんの年代で絶対にはたばこに手を出してはいけない」と警鐘を鳴らした。

終了後、3年の猿子千尋さん(14)は「がんになると副反応の治療も大変。これから生活習慣に気を付けた」と話した。